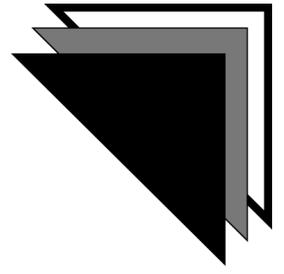




オオコウモリは怖い？



小笠原の夜、漆黒闇はとて
も静かで、時折ヒューイー
ホーイーというトラツグミの
鳴き声が響きます。しかしよ
く耳をこらすとキキキ、キャ
キャキャという猿のような甲
高く、騒がしい声が樹上から
聞こえることがあります。こ
れはオガサワラオオコウモリ
たちが、餌を求めて集まって
きている時や、満腹で遊んで
いる時、喧嘩している時など
にかわす彼らの会話です。

小笠原の大蝙蝠は

終日を翼蟲のごと

ぶら下がったり

書を寝る倒さ蝙蝠

よく見れば

狡げなる目あいてるにけり
手の骨の細く

不気味き蝙蝠は

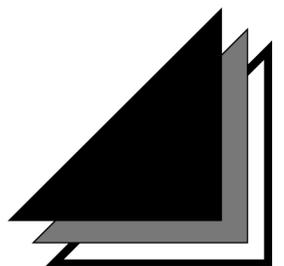
ひねこび顔に何をたくらむ

これは昭和一年に小笠原
を訪れた小説家中島敦が残し
た歌です。なんとも怖い、か
わいくないイメージが伝わっ
てくる歌ですが、本当の
「大蝙蝠」は違つんです。

そもそもオオコウモリとは

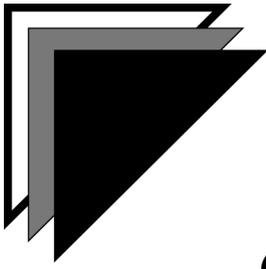
どんな動物なのでしょう？

オオコウモリの仲間は熱帯
・亜熱帯地域に生息していま
す。特に体が大きい種類がプ

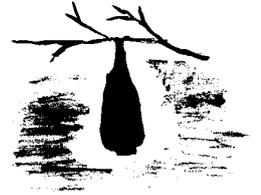


テロプスと呼ばれるグループ
で、世界中に約六〇種類が分
布し、オガサワラオオコウモ
リもこの中に含まれます。日
本では、小笠原以外で沖縄県
にクビワオオコウモリという
種類が生息しています。オガ
サワラオオコウモリは全身
真っ黒で、少し銀色の長い毛
が混じっているのですが、ク
ビワオオコウモリは首の周り
が黄色くオレンジ色を呈して
いて、首輪をしているように
見えるところが大きく異なり
ます。

オオコウモリ類は翼を広げ
ると1メートル近くになり、
とても早く回数が多い羽ばた
きをする小型コウモリよりも、



Mountain



大型の鳥に近い、バツサバツサという飛び方が特徴的です。翼はまるで柔らかい布やゴムのような伸縮自在の皮膜からできています。大きくて丸い目、とても小さい耳はオオコウモリの共通の特徴ですが、オガサワラオオコウモリは、他のオオコウモリに比べて特に鼻面が短く、丸っこい頭からなる顔は、いわゆる子供顔で、子犬のような印象を与えます。逆に鋭い歯、鋭い爪は強力な武器であり、かわいらしさに釣られて手を出すと痛い目にあうこととなります。木ののぼる姿はまるで子猿のようで、なんとも言えないユニークな動きです。

オオコウモリ類は英語でフ

ルートバットと呼ばれ、餌として果実や花蜜、葉っぱなどを食べています。これまでの研究からオガサワラオオコウモリの餌の特徴としては、葉っぱを食べる割合が多いことが分かっています。餌場は父島全域で、大村や清瀬にも時々出没していることに皆さん気づいていらつしゃいますか？ もともと、オオコウモリ類の生活空間は人間の生活環境とオーバーラップしていることがとても多いのです。運良く見つけたときに、もっと近くで観察しようとするやりに近づいたり、強いライトを何本も当てたり、騒いだりするのをしなければ、オオコウモリを観察することは簡単

です。かわいらしい、おもしろい動作を観察できると思います。出来れば何時、どこで、何匹くらい見たか記録を付けて、後日研究所に教えていただけると今後の調査に役立ちます。

次号ではこれまでの研究で分かってきたオオコウモリの生態や、人間の生活活動との問題点などについて書く予定です。お楽しみに。

ま

